

# きゅうしゅう

NO.72



小倉駐屯地創立69周年記念行事 観閲行進  
(提供：陸上自衛隊小倉駐屯地広報室)

## 目次 CONTENTS

- 1. 部隊紹介 : 陸上自衛隊小倉駐屯地
- 2. 自治体紹介 : 福岡県北九州市
- 3. 業務紹介 : 企画部周辺環境整備課
- 4. インフォメーション : 日米合同演奏会ほか



防衛省と地域社会との協力を  
象徴するエンブレム

# 1. 部隊紹介



## 陸上自衛隊 小倉駐屯地



第40普通科連隊長  
兼ねて小倉駐屯地司令  
1等陸佐 佐藤 靖倫

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様こんにちは。  
第40普通科連隊長兼ねて小倉駐屯地司令の佐藤1佐です。  
小倉駐屯地は、明治30年旧陸軍の駐屯地として開設され時代の変遷を経て、昭和31年4月に陸上自衛隊小倉駐屯地として発足し地域の皆様の協力もあり、今年で開設69周年を迎えることとなりました。大変感謝しております。

さて、小倉駐屯地は、例年、8月上旬に夏まつり、10月～12月に駐屯地創立記念行事、3月に定期演奏会を開催し、多数の地域住民の方が来場されています。また戸畑祇園山笠や若松港まつりなどのイベントに対する支援、各自治体との防災訓練への参加など常に地域と一体となった活動に心掛けています。  
さらに、毎年4月には地元企業等から多数の隊内生活体験者を受け入れており、自衛隊に対するご理解の一つとして活用させていただいています。

これからも、小倉駐屯地は、地域の皆様から信頼される駐屯地として「地域との連携」と「風通しの良い駐屯地」の創造に邁進してまいります。引き続き小倉駐屯地に対するご理解・ご協力・ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

### 駐屯地の沿革

- 明治 8年 歩兵第14聯隊小倉城内で新編
- 明治30年 小倉駐屯地は、陸軍小倉兵営(北方營所)として開設され、歩兵第47聯隊等が新編
- 昭和 3年 歩兵47聯隊は、大分へ移駐  
歩兵14聯隊が小倉城内から北方へ移駐
- 戦 後 一時米軍による接收
- 昭和31年 陸上自衛隊小倉駐屯地として開設、第19普通科連隊第2大隊から、第108施設大隊が小郡から小倉へ移駐
- 昭和37年 第40普通科連隊新編
- 昭和41年 第108施設大隊が飯塚に移駐



### 駐屯地所在部隊

小倉駐屯地は、40連隊を基幹としたその他の諸隊で編成され、日々各種業務及び訓練に励んでいます。



小倉駐屯地 公式X稼働中!

訓練風景や隊員の様子等アップしています。皆様お気軽にフォローよろしくお願いします。



# 部隊の活動状況



写真:火の山公園(下関側)から見た関門海峡

## 訓練・演習

40<sup>th</sup> Infantry Regiment, Camp Kokura

駐屯地隊員は、各種訓練・演習を積極的に実施し、抑止力・対処力のさらなる向上に努めています。



師団訓練検閲



戦闘戦技訓練



連隊射撃訓練

## 教育

40<sup>th</sup> Infantry Regiment, Camp Kokura

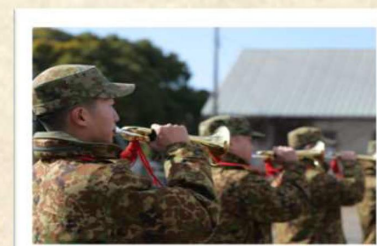
入隊後の基礎教育を経て、現場での実務と段階的な訓練を通じて能力を高めています。



自衛官候補生課程教育



補助担架教育



初級陸士特技教育

## 駐屯地 部内外行事

40<sup>th</sup> Infantry Regiment, Camp Kokura

各種行事を通じ、自衛隊と地域住民との信頼関係を深めるとともに、自衛隊の活動や役割を理解してもらうことを目的としています。



駐屯地創立記念行事



駐屯地夏祭り



定期演奏会

## 災害派遣等

40<sup>th</sup> Infantry Regiment, Camp Kokura

自然災害をはじめとする各種災害の発生時に関係省庁や地方自治体の方々と連携して、災害対処能力の強化を図り、国内のどの地域においても、被災者救助や給水・入浴支援及び医療活動等を行っています。



能登半島地震入浴支援



防災訓練における訓練展示



防災訓練における炊事支援

## 2. 自治体紹介

# 福岡県 北九州市



北九州市長  
武内 和久

### ◇ 市長あいさつ

福岡県の北部、関門海峡をはさんで本州と九州を結ぶ玄関口となっている北九州市。政令指定都市でありながら、雄大なカルスト台地が広がる平尾台や、皿倉山からの大パノラマなど、「大都市の利便性」と「豊かな自然」が共存しています。

また、北九州市は、三方を特徴の異なる海に囲まれ、四季折々に豊富な種類の魚介が獲れる、魚の美味しいまちです。漁場と消費地が近く、新鮮な魚がすぐに届く環境、そして、魚を愛する市民に応えるべく、職人たちが腕を磨いてきました。

市内には、世界的に有名な高級すし店から、地元の方々に親しまれる街ずし、グルメサイトで高評価を得る回転ずしまで、実に多彩なすし文化が根付いています。こうした北九州市ならではのすし文化を背景に、令和7年4月1日には「すしの都課」を立ち上げ、その魅力を全国へ、そして世界へと発信しています。

北九州市にお越しの際は、是非すしをはじめ、北九州市だからこそ味わえる豊かな食を存分にご堪能ください。

### 北九州市のグルメ

街の歴史が育んだ「食文化」、豊かな海や山が育んだ「食材」



合馬たけのこ



焼きカレー



寿司



関門のふぐ



うどん



八幡ぎょうざ



ぬかだき



焼うどん



小倉牛

### 北九州市と自衛隊のかかわり

誰もが安心して暮らせる「安らぐまち」の実現にむけて

自衛隊の皆様方には、日頃から防災訓練や啓発イベントなどに積極的にご参加いただき、北九州市の防災活動に多大なるお力添えをいただいております。

令和5年3月に実施した「北九州市防災訓練」では、陸上自衛隊第40普通科連隊及び航空自衛隊西部航空方面隊の皆様との並々ならぬご協力により、大規模災害発生時における政府によるプッシュ型の救援物資支援を想定した実働訓練を実施しました。

この訓練では、北九州空港から小倉駐屯地、さらにメディアドーム(緊急物資集配センター)までの物資輸送を実際に行い、搬入から配送までの一連の流れを確認することができました。

## 北九州市と自衛隊のかかわり ～つづき～

また、令和7年5月には、海上自衛隊佐世保地方隊のご協力により、南海トラフ地震を想定した災害派遣活動についての知見を深めるため、護衛艦「さわぎり」を視察し、意見交換を行う貴重な機会をいただきました。この場をお借りし、改めて御礼申し上げます。

実際に災害が発生した際に、迅速かつ的確に対応するためには、自衛隊をはじめ、関係機関・団体との連携を一層強化し、日頃からの訓練や協力体制の充実を図ることが何より重要です。

今後とも、自衛隊の皆様と築いてきた「顔の見える関係」をさらに深め、緊密な連携のもと、災害に強く誰もが安心して暮らせる「安らぐまち」の実現に努めてまいります。引き続き、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 観光・おでかけ

魅力あふれる歴史の物語を今に伝えつつ、  
現在も、そしてこれからも、絶え間なく進化を続ける街…



## ◇ 北九州市のふるさと納税

北九州市では、厳選された「九州産黒毛和牛」をはじめ、関門海峡からの海の恵み「ふぐ刺し」や北九州市民のソウルフード「資さんうどん」、"ものづくりのまち"の技術力を生かした「シャボン玉石けん」や「トイレットペーパー」など、幅広いラインナップの返礼品をご用意しています。



詳しくは、北九州市HPへ

### 3. 業務紹介

## 企画部 周辺環境整備課

### 概要

周辺環境整備課においては、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律（以下、「環境整備法」という。）に基づき、自衛隊等の行為又は防衛施設の設置・運用により生ずる障害の防止等を図るため、防衛施設の周辺地域における生活環境等の整備について地方公共団体等が必要な措置を行うときに、その費用の一部を助成するなどの業務を行っています。

その他には、駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法等に基づき、関連防衛施設の周辺地域において住民の生活に及ぼす影響が増加する市町村に対して「再編交付金」を、駐留軍等の再編に係る訓練移転の実施に伴い、航空機騒音等による住民生活の安定に及ぼす影響等を考慮し、関係する市町村に対して「再編関連訓練移転等交付金」を、更に、航空機等を使用した自衛隊等の訓練が周辺地域における生活環境又は開発に及ぼす影響を考慮し、訓練使用施設（特定防衛施設を除く。）の所在市町村に対して「訓練交付金」を交付する業務を行っています。

### 施策の内容

環境整備法第3条による  
障害防止工事の助成



環境整備法第8条による民生安定施設の助成



環境整備法第9条による  
特定防衛施設周辺整備調整交付金の交付



再編交付金の交付



再編関連訓練移転等交付金の交付



訓練交付金の交付



## 4. インフォメーション

# 日米合同演奏会

## U.S.-Japan Friendship Concert

2025 10.18 土 くすまちメルサンホール  
町民ホール

九州防衛局は、この秋、日米合同演奏会を開催し、玖珠町の方々をはじめ、約700名に  
来場いただきました。本演奏会は、日出生台演習場地域の皆様に、自衛隊及び在日米軍の  
活動に対するより一層のご理解をいただくため実施したもので、今回初めての開催とな  
ります。

出演を予定していた米海兵隊第3海兵遠征軍音楽隊は、事情により急遽不参加となりま  
したが、陸上自衛隊西部方面音楽隊(以下、西方音楽隊)と大分県立玖珠美山高等学校(以  
下、玖珠美山高校)が出演し、本番前のリハーサル中には、西方音楽隊の隊員から玖珠美山  
高校吹奏楽部の生徒に対してクリニック(演奏指導)が行われ、双方が交流を楽しみました。

本番が始まると、玖珠美山高校放送部2名の立派な司会進行のもと、西方音楽隊の迫力  
ある行進曲から始まり、玖珠美山高校吹奏楽部のポピュラー音楽の演奏、続いて合同演奏  
を行いました。その後、今回不参加となった米海兵隊からのビデオメッセージとビデオ演  
奏を上映しました。最後に、西方音楽隊の単独演奏が終わると会場では拍手が鳴りやまず、  
リクエストに応じてアンコールを演奏し、演奏会は大盛況で幕を閉じました。

今後も、九州防衛局は地域と防衛省・自衛隊の架け橋として、地域の皆様により一層ご理  
解・ご協力いただけるよう各種イベントを企画してまいります。



西方音楽隊から玖珠美山高校吹奏楽部へのクリニック(演奏指導)

玖珠美山高校放送部による司会



伊藤九州防衛局長による挨拶

宿利玖珠町長による挨拶

会場の様子

演奏会の様子①



米海兵隊第3海兵遠征軍音楽隊のビデオメッセージと演奏

演奏会の様子②

演奏会の様子③

## 令和7年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式

令和7年10月21日（火）、米海軍佐世保基地内の「ハーバービュークラブ」において、令和7年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

この表彰式は、佐世保地区に所在する在日米軍の各施設に永きにわたり勤務された従業員89名に対し、その労をねぎらい、併せて労働意欲及び作業能率の向上を図ることを目的として、日米共催で実施されたものです。

表彰式は、日米両国の国歌吹奏から始まり、主催者挨拶として日本側を代表して伊藤和己九州防衛局長から「従業員の皆様方の御労苦と御努力に対し、心から敬意を表すとともに、苦楽を共にしてこられた職場、ご家族の方々の温かいご支援に深く感謝いたします。これからも日々の活動や交流を通じ、日米両国の架け橋として、更にご尽力賜りますようお願い申し上げます。」と述べられ、また、米側を代表してマイケル・フォンテン米海軍佐世保基地司令官から「皆さまの確固たるお仕事は、米海軍、日本政府、自衛隊、佐世保市、西海市、そして私たちが生活し働く地域社会の友人や隣人との絆を強固なものとし、皆さま方の日々の努力は、日本を共同防衛し、アジア太平洋地域の持続的な繁栄の基盤である安全保障、安定、自由を維持するという私たちの任務に直接に大きく貢献しています。皆さまのお仕事は、お一人お一人に高い榮譽をもたらし、またご自身とご家族にとって計り知れない誇りの源となっていることを願っております。」との式辞が述べられました。

続いて、勤続年数40年、30年、20年、10年の各代表者に表彰状と記念品が授与され、最後に被表彰者を代表して、米海軍施設技術部隊佐世保環境課の藤澤恒昌氏が、「私たちが今日まで無事に佐世保基地に勤務することができ、このような素晴らしい表彰を受けることができましたことは、ひとえに日米両国の関係者の皆様、同僚、友人のあたたかいご指導、ご協力によるものであり深く感謝いたしております。私たちはこれからも困難を乗り越え、良好な日米両国関係を維持するために一層精進する所存でございます。」との答辞が述べられ、長崎県をはじめとする来賓の方々や永年勤続者の所属する職場の上司、また、ご家族の参列の下、和やかな雰囲気の中、開催することが出来ました。



▲伊藤和己九州防衛局長の式辞



▲フォンテン米海軍佐世保基地司令官の式辞



▲表彰状及び記念品の授与



▲被表彰者代表の答辞

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

### 夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 (自動音声による案内)

平日は17時15分から翌朝8時30分まで  
休日は終日